

## 確認申請書（昇降機以外の建築設備）

（第一面）

建築基準法第87条の2第1項において準用する同法第6条の2第1項の規定による確認を申請します。申請にあたっては、株式会社確認検査機構トラスト確認検査業務約款及び同確認検査業務規程を遵守します。また、この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

確認の申請に係る手数料として、株式会社確認検査機構トラスト確認検査業務手数料規程に基づき算定され、引受承諾書に明示された額を支払います。

株式会社確認検査機構トラスト  
代表取締役 内田武三郎 様

平成 年 月 日

設置者氏名 印

上記代理者氏名 印

---

※受付欄	※決裁欄	※確認済証欄
平成 年 月 日		平成 年 月 日
第トラス 号		第トラス 号
係員印		係員印

（注意）

- ① ※印のある欄は記入しないでください。
- ② 数字は算用数字を用いてください。
- ③ 設置者又は代理者欄は、それぞれ氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。また、法人にあつては、名称及び代表者氏名としてください。

---

【1. 設置者】

【イ. 氏名のフリガナ】

【ロ. 氏名】

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 住所】

【ホ. 電話番号】

---

【2. 代理者】

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号

【ロ. 氏名】

【ハ. 建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ニ. 郵便番号】

【ホ. 所在地】

【ハ. 電話番号】

---

【3. 設計者】

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号

【ロ. 氏名】

【ハ. 建築士事務所名】 ( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ニ. 郵便番号】

【ホ. 所在地】

【ハ. 電話番号】

---

【4. 工事施工者】

【イ. 氏名】

【ロ. 営業所名】 建設業の許可( )第 号

【ハ. 郵便番号】

【ニ. 所在地】

【ホ. 電話番号】

---

【5. 設置する建築物】

【イ. 所在地】

【ロ. 名称のフリガナ】

【ハ. 名称】

【ニ. 用途】

---

【6. 建築設備の概要】

---

【7. 工事着手予定年月日】 平成 年 月 日

---

【8. 工事完了予定年月日】 平成 年 月 日

---

【9. 指定特定工程工事終了予定年月日】 (特定工程)

(第 回) 平成 年 月 日 ( )

(第 回) 平成 年 月 日 ( )

---

【10. 備考】

---

(注意)

1. 各面共通関係

数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。

2. 第一面関係

- ① 申請者の氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
- ② ※印のある欄は記入しないでください。

3. 第二面関係

- ① 設置者が2以上のときは、1欄は代表となる設置者について記入し、別紙に他の設置者についてそれぞれ必要な事項を記入して添えてください。
- ② 設置者からの委任を受けて申請を行う者がいる場合においては、2欄に記入してください。
- ③ 2欄及び3欄は、代理者又は設計者が建築士事務所に属しているときは、その名称を書き、建築士事務所に属していないときは、所在地はそれぞれ代理者又は設計者の住所を書いてください。
- ④ 設計者又は工事施工者がそれぞれ2以上のときは、第二面は代表となる設計者又は工事施工者について記入し、別紙に他の設計者又は工事施工者についてそれぞれ必要な事項を記入して添えてください。
- ⑤ 4欄は、工事施工者が未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。
- ⑥ 認証型式部材等製造者が製造をした当該認証に係る型式部材等を有する場合は、6欄に認証番号を記入すれば、概要を記載する必要はありません。
- ⑦ 申請に係る建築設備を設置する建築物の確認済証番号、確認済証交付年月日及び確認済証交付者が把握できる場合には、10欄に記入してください。
- ⑧ 建築物に関する確認申請と併せて申請する場合には、6欄に記載したものを第二号様式に追加添付すれば、この様式を別途提出する必要はありません。
- ⑨ 計画の変更申請の際は、10欄に変更の概要について記入してください。
- ⑩ ここに書き表せない事項で特に確認を受けようとする事項は、別紙に記載して添えてください。